

海津木苑施設等啓発

海津木苑施設等啓発 【実績】

No.	月日	曜日	啓発内容	団体名	参加人数
1	8月20日	火	古賀中学校職員人権研修	古賀中学校	49名
2	8月21日	水	職員人権研修（午前・午後）	古賀市職員	86名
3	8月22日	木	古賀東小学校職員人権研修	古賀東小学校	27名
4	8月23日	金	職員人権研修（午前・午後）	古賀市職員	67名
5	9月2日	月	施設見学	花鶴小学校4年生	120名
6	9月10日	火	施設見学	小野小学校4年生	68名
7	9月12日	木	施設見学	古賀西小学校4年生	81名

1. 古賀中学校職員研修 8月20日（火）49名

写真省略

《ご意見・ご感想》

○数年前にやはり学校の研修で2代目の施設で海津木苑の歴史について学んだことがありました。住民みんなの役に立つ施設であるのにその建設については、多くの困難があったということがよく分かり、とても有意義でした。今回、3代目の海津木苑の建設にいたる説明や施設見学をさせていただき、古賀市が一步ずつ、しかし確実に私たちが生きるための環境を整え、差別のない社会への歩みを進めているということがよく分かりました。

○海津木苑が建設された背景や、し尿処理と人権侵害の関りを具体的なスライドや動画によって詳しく知ることができました。排泄することのような生きるうえで欠かせない活動でも人権侵害につながるということを理解したうえで、これからの教育活動に励んでいく。

○し尿処理と同和問題が密接に関わっていたことを初めて学びました。し尿の問題で生まれたという部分が印象に残りました。海津木苑の覚書の内容に地域の人々の就労を支えるために食品加工団地を誘致したという部分にも驚きました。小学校でのし尿処理学習が行われているのも素晴らしいと思います。

◇ 《とても理解できた32名》 ◇ 《理解できた17名》

3.古賀東小学校職員人権研修 8月22日（木）27名

写真省略

○とてもきれいな施設でびっくりしました。排泄は誰にとっても大切なことだと思います。他人事ではなく、自分にも出来ることや感謝を忘れずに教育活動に励みたいです。

○海津木苑建設の歴史について、建設の経緯は知らなかったので知ることができ大変勉強になりました。新施設を見学させていただきましたが、とてもきれいでユニバーサルデザインに特化した建物であることを知り感動しました。こういった研修をしていただくことで私たち教職員の知識と経験に繋がり、未来を担う子どもたちの教育に活かすことができると感じました。

○海津木苑建設の経緯を動画で分かりやすく説明していただきとても理解が進んだのでよかった。実際に施設を見せて頂くことで子どもたちに正しい様子を伝える事が出来ると思います。教育者が実際の施設を見学し、自分の目で確かめることの大切さがわかりました。

◇《とても理解できた18名》 ◇《理解できた8名》 ◇《半分くらい理解できた1名》

2. 職員人権研修 8月21日（水）86名《午前45名・午後41名》

写真省略

4. 職員人権研修 8月23日（金）67名《午前37名・午後30名》

写真省略

職員人権研修感想（8月21日・8月23日）

○海津木苑の建設経緯についてこれまでより理解できたのではないかと感じますが、今後も研修を通して正しく理解できるように努めたいと思います。また、し尿処理施設である海津木苑を実際に見学することは、人権問題への理解を深めるうえで重要だと感じました。

○し尿処理施設で人権問題について学ぶことができるのは全国的にも珍しいことだと思います。人権問題には色々な種類があり、また一つ新しい考え方を学ぶことができました。日々の暮らしの中で「これは人権問題につながるのでは？」という気づきが増えるよう、常に意識をもって生活したいと思いました。

○新しくなった施設の見学ができ、色々な箇所に工夫や思いが込められていることが伝わってきました。研修のおかげで、処理場の歴史背景を知ることができ、今当たり前のように衛生的に過ごせている日常生活は決して当たり前にこうなったことではないということを理解できました。

○旧施設が原因でおこった差別事象についての実際の小学生の作文に胸が痛みました。小学生の苦しみ保護者の怒りを忘れずに、行政職員として同和差別解消に取り組みたいと思います。

○実際に海津木苑を訪れて、建設経緯を改めて学ぶことができよかったです。また、食品加工団地よりも先に処理場があり、その後企業誘致や住宅地の開発がされたことを知って、建設に携わった方々の思いを感じました。また見学に来た方に明るい印象を持ってもらえるような職員のみなさんで壁紙や色使いを工夫されたとお聞きして、自分もそのような印象を受けたので、啓発は言葉で伝えるだけでなく色々な形があるのだと思った。

○海津木苑の建設経緯など分かりやすく説明していただいた。自分が実際に当時住んでいたとして、生きていく上で必要な施設で、決して迷惑ではなく大切な施設である、と考えたり、発言したりすることができただろうかと考えさせられた。施設の見学も初めてだったが、とてもきれいな施設だと思った。

○排泄物の処理で分解や副産物も助燃剤として活用するといったように最新の技術はすごいなと思った。また、排泄行為は食べることと同じくらい大事であるにも関わらず、排育はあまり進んでいないように感じる。とても大事であると感じた。排育から同和問題についても一緒に学ぶことで、連動性のある理解の深まりを感じるため、今回のような教育を子どものうちからおこなうことはとても良いと感じた。

◇《とても理解できた89名》 ◇《理解できた63名》 ◇《半分くらい理解できた1名》

5. 施設見学（花鶴小学校） 9月2日（月）114名《保護者6名》

写真省略

先生の感想（花鶴小学校）

スライドで分かりやすく説明されていたり、動画で子どもが飽きないように工夫されたりしていて、とても分かりやすかったです。実際に機械の近くに行くことができ、大きさや音などを体感しながら学ぶことができ、大変学びになったと思います。バキュームカーの実演が子どもに好印象だった。また、今回は6人の保護者が参加し、子どもと一緒に学び、たくさん質問をしており、子どもたちのよいお手本として映ったと思います。

学校生活において児童にどのような変化が見られたと思いますか

以前からトイレに対する抵抗はない雰囲気だったが、改めていつでもトイレにいてよいということ価値づけられたと思う。また、うんち・おしっこははずかしいことではないと発言する様子がみられました。

授業や児童の学校生活にどのように活かしていこうとお考えですか。

うんち、おしっこは大切な行為、当たり前前行為であることを今後も言い続ける必要があると感じる。また、イメージを元に偏見や差別をするのではなく、実際に見る、聞くなどの確かめる行動が大切であることを、日々の生活の中で意識させることが大切であると思った。うわさ話が原因の子ども同士のトラブルが以前あったが、そのような生徒指導の際も、今回の学習を思い出させて、考えさせていきたいと思った。これからも排育を大切にして、いつでもトイレに行ける環境づくりを行いたい。

保護者の感想

○色々な工夫がなされていることがわかりました。ここで出したものがエコロの森で再利用されていることに感心しました。

○こちらに来るまでは、海津木苑のことを何も知らなかったんですが、公害を出さないために色々な工夫をされてるんだと思いました。

○施設見学ではほとんどおいがなく、処理方法が素晴らしいと思いました。バクテリアの力で分解しており、その管理が重要なのだと理解できました。子どもたちにもわかりやすい内容で説明していただきありがとうございました。

◇《とても理解できた3名》 ◇《理解できた2名》 ◇《半分くらい理解できた1名》

6. 施設見学（小野小学校） 9月10日（火）61名《保護者7名》

写真省略

先生の感想（小野小学校）

施設が新しくなり、初めて見学させていただきました。施設案内では丁寧に施設や機械の説明をしていただき分かりやすかったです。事前にスライドでし尿処理の流れやバクテリアのことを教えていただいていたためより理解が深まったと感じています。また、し尿処理施設撤去移転問題について、アニマル村の動画で伝えていただき、子どもたちの身近な動物が登場し入り込みやすく心に残ったと思います。し尿処理に対する偏見や思い込みを持たず、正しく判断していくことの大切さをしっかり伝えていただき、その後の振り返りの授業や道徳「お父さんの仕事」の授業でも、考えを深めることに繋がりました

学校生活において児童にどのような変化が見られたか

子どもたちは、見学を通してし尿処理に対する「くさい・きたない」というイメージが思い込みであったことを実感し、その後の「お父さんの仕事」の学習でし尿処理施設は人々が気持ちよく暮らすためになくてはならない大切な施設であること、働く方への尊敬や感謝、気持ちを持つこと、また人に流されずに事実をもとに正しい判断をしていくことの大切さに気付いていきました。海津木苑で実際に見て、聞いて、体験したからこそ教材と結びついて、学びが深まったのだと思いました。小野小学校では、トイレの工事が行われていますが、その方々への感謝の気持ちを持つことへも繋がってきています。

授業や児童の学校生活にどのように活かしていこうとお考えですか。

低学年では排泄の大切さやトイレ掃除の大切さを学びました。4年生ではし尿処理学習を行い、し尿処理施設への偏見や思い込みが差別につながることを学びました。この学びを6年生での歴史学習へ繋ぎ差別を見抜き、事実をもとに物事を正しく判断していこうとする態度を育てていきたいと思っています。

保護者の感想

○すごく分かりやすかったです。あらためてなくてはならない場所だと感じました。

○説明も映像もとても分かりやすく、子どもたちが飽きてしまわないよう工夫されていてすごく良かったです。

○し尿処理のためにバクテリアがとてもいい働きをすることが理解できました。施設のイメージは特にありませんでしたが、実際いってみるととてもきれいでにおいも特に感じませんでした。軽い気持ちで見学に参加しましたがきて良かったです。

◇《とても理解できた4名》 ◇《理解できた3名》

7. 施設見学（古賀西小学校） 9月12日（木）81名

写真省略

先生の感想（古賀西小学校）

○新しい海津木苑になったということで、以前見学した施設より雰囲気がとても明るくて驚きました。子どもたちが社会科で学習する中で素直に「臭いがしそう」「汚そう」と感想をこぼしていたので、子どもたち自身の偏見や差別的な見方を気付かせるとても良い機会でした。この学習を経ることで、子どもたち自身の人権意識の向上につながる大切な機会だったと思います。

○4年生の子どもたちにわかりやすく、絵や写真、アニメーションで説明されていて、学校に帰ってからもよく理解していました。私自身初めての海津木苑見学の学習だったので、どんな処理をしたり、においをどう抑えたりとか知らずにいたので、大変勉強になりました。これからは知らないことに対して知らないから分からないで終わらせるのではなく、知って自分自身で考えを改めていこうと思いました

○はじめは、臭そうといったイメージが多かったのですが見学前での学習や見学での学習を通して自分たちの生活に必要なものだったということに気づき働いてくれている人に感謝の気持ちを持つ子が多くいました。そのほかにも思い込みで行動しない、分からない情報は大人や知っている人に確認し本当かどうかを確かめる等の気持ちの変化が見られとてもいい学習だったと感じています。

学校生活において児童にどのような変化が見られたと思いますか

○学校生活の中で、子どもたちから「決めつけないで」という言葉が聞こえるようになってきました。また「それって決めつけじゃない？」と友達と話している姿も見かけました。偏った見方をしない、という意識が芽生えたように感じます。またトイレに関しては、以前からうんちをすることに抵抗がない子が多くいましたが、友達と隠れて遊ぶ場所等になりかけていたので、トイレはトイレをする場所という意識をするようになりました。

○おしっこやうんちという言葉が冗談に使ったり、トイレを我慢したりということがあまりしなくなったと思います。また、アニマル村のことや虹の色の数についてのことを思い出し、自分たちのために働いてくれている人がいることや決めつけをしてはいけないと考える子が増えたように感じます。

○以前の学校生活ではあまり学校で行かない子が多く、理由を聞くと恥ずかしいとってしまう子が多かったです。しかし、学習を通して排泄することは体のために必要なことであり、恥ずかしがらなくていいことなのだと思ってく子が多くいました。今では、授業中にお腹が痛くなったらいく子や学校生活中に我慢せずにトイレに行く子が増えてきています。

授業や児童の学校生活にどのように活かしていこうとお考えですか。

○子どもたちの中で「あの子は～だから」という発言や見方があったので、偏った見方をしない、正しい情報で判断するように指導していきたいと思います。またトイレをきれいに扱うということを4学年だけで終わらせるのではなく、学校全体に広め、家庭での行動まで広げられるような活動を仕組んでいきたいと思っています。子どもたちに強制するのではなく、子どもたち自身から発案をし、楽しく活動ができるようなものを考えていきたいと思っています。

○見学が終わって道徳で「お父さんの仕事」をしました。子どもたちはし尿処理の仕事はみんなのために働いていて、大切な仕事であると考えていました。また自分たちの姿と重ねながら決めつけるのではなく、本人に話を聞いたり調べたりすることが大切と考える子どもがたくさんいました。今後子どもたちが周りの人に教えたいといっていますので学習発表会で発表する予定です。

○し尿処理学習は古賀でしかやっていない学習だということを知り、他の地域では行っていない学習をなぜ古賀ではしているのかについて考え授業づくりをしたいと考えています。また子どもにはし尿処理学習を通して普段から思い込みをして行動していること、簡単に情報を信じてしまっていること等新たな気づきをたくさん与えることができるようにしていきたいです。